

## 味の素株式会社 2020年3月期 決算概要①

## ■財務諸表・外部影響等

(単位:億円)

連結損益計算書	FY19実績	FY18実績	増減額	増減率	20/1-3月 *3	19/1-3月	増減額	増減率	FY19 修正予想	進捗率
売上高	11,000	11,143	▲142	▲1%	2,776	2,776	▲0	▲0%	11,385	96%
持分法による損益	▲24	▲5	▲19	-	▲16	▲6	▲9	-	-	-
★ 事業利益 *1	992	932	59	6%	158	182	▲23	▲13%	880	112%
固定資産売却益	14	6	8	138%	1	1	▲0	▲17%	-	-
その他	60	53	6	12%	33	17	15	89%	-	-
その他の営業収益	75	60	15	26%	34	19	15	82%	-	-
固定資産除去損	38	34	4	14%	14	9	4	47%	-	-
その他	541	421	119	28%	169	105	63	60%	-	-
その他の営業費用	580	456	124	27%	184	115	68	59%	-	-
★ 営業利益	487	536	▲48	▲9%	9	86	▲76	▲89%	420	116%
受取利息	44	43	0	0%	9	13	▲4	▲32%	-	-
その他	36	37	▲1	▲3%	19	10	8	81%	-	-
金融収益	80	81	▲0	▲1%	28	24	4	18%	-	-
支払利息	37	33	3	10%	9	8	1	14%	-	-
その他	43	37	5	15%	26	5	21	399%	-	-
金融費用	80	70	9	13%	35	13	22	168%	-	-
★ 税引前当期利益	487	546	▲59	▲10%	1	96	▲95	▲98%	422	115%
法人所得税	203	176	26	15%	28	10	17	171%	150	135%
税率	41.8%	32.4%			1497.2%	10.7%			35.5%	
継続事業	284	370	▲85	▲23%	▲26	86	▲112	-	-	-
非継続事業 *2	5	20	▲14	▲72%	5	7	▲2	▲27%	-	-
当期利益	289	390	▲100	▲25%	▲20	94	▲114	-	272	106%
★ 親会社の所有者	188	296	▲108	▲36%	▲42	73	▲116	-	180	104%
非支配持分	101	93	8	8%	22	21	1	5%	92	110%

\*1 当社が経営管理のため独自に定義した利益指標。(売上高 - 売上原価 - 販売費・研究開発費及び一般管理費 + 持分法による損益)

\*2 前連結会計年度より物流事業は、非継続事業に分類しております。当社は2019年4月1日にF-LINE株式会社(旧味の素物流株式会社)に対する支配を喪失し、当連結会計年度よりF-LINE株式会社は当社の持分法適用関連会社となり、支配の喪失に係る損益は非継続事業に含め、持分法による損益は継続事業に含めております。

また、当連結会計年度より包材事業(フジエス社)は、非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの利益は、連結計算書類上、継続事業と区分して表示しております。なお、対応する2019年3月期についても同様に組みかえて表示しております。

\*3 当第四半期会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第三半期累計期間までの数値を遡及修正しております。

★ 当連結会計年度では、減損損失を計上しております。減損損失の内容を各段階別別に記載すると以下の通りです。(単位:億円)

	2019年度			20/1-3月		
	事業利益	営業利益 税引前 当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	事業利益	営業利益 税引前 当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
(1) 欧州の動物栄養事業の製造設備に係る減損損失	-	149	117	-	-	-
(2) 持分法で会計処理されているプロマシードールホールディングス社(以下、PH社)に対する投資に係る減損損失(33.33%出資相当)	-	42	42	-	-	-
(3) PH社商標権に係る減損損失(33.33%出資相当)	38	38	38	-	-	-
(4) ベーカーリー事業の製造設備に係る減損損失	-	38	29	-	-	-
(5) 欧州の調味料製造設備に係る減損損失	-	68	68	-	-	-
(6) AIS社ののれん及び商標権に係る減損損失	-	22	21	-	22	21
合計	38	360	318	-	22	21

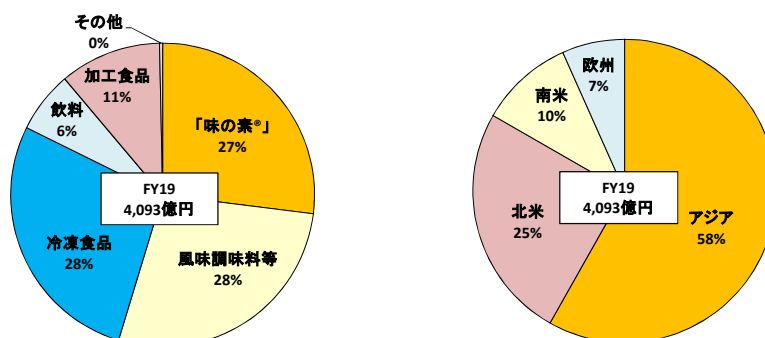
除く換算為替	FY19実績	FY18実績	増減額	増減率	20/1-3月 *3	19/1-3月	増減額	増減率
日本食品	3,756	3,750	6	0%	908	883	24	2%
海外食品	4,865	4,816	48	1%	1,225	1,210	14	1%
ライフサポート	976	1,079	▲102	▲9%	242	254	▲12	▲4%
ヘルスケア	1,403	1,353	49	3%	403	394	9	2%
その他	153	142	11	7%	43	33	10	30%
売上高	11,155	11,143	12	0%	2,824	2,776	47	1%
日本食品	329	298	30	10%	35	42	▲6	▲15%
海外食品	493	423	69	16%	81	91	▲10	▲11%
ライフサポート	70	95	▲25	▲26%	25	19	6	31%
ヘルスケア	131	120	10	8%	49	46	3	6%
その他	▲19	▲6	▲13	-	▲26	▲16	▲9	-
事業利益	1,004	932	71	7%	164	182	▲18	▲9%

外部影響(対前年増減)	FY19実績	20/1-3月
換算為替	売上高 ▲154 ・ 事業利益 ▲11	売上高 ▲48 ・ 事業利益 ▲5
貿易為替*	売上高 +約0 ・ 事業利益 ▲約0	売上高 +約5 ・ 事業利益 +約5
日本食品原材料	+3 (調味料・加工食品 +3、冷凍食品 +0)	+0 (調味料・加工食品 +0、冷凍食品 +0)
発酵原燃料	+32 (主原料 +20、副原料 +14、エネルギー ▲2)	+19 (主原料 +10、副原料 +9、エネルギー ▲1)
コストダウン(日本食品)	+34 (調味料・加工食品 +19、冷凍食品 +15)	+8 (調味料・加工食品 +5、冷凍食品 +3)

\*5億円単位の概数で表示

為替レート	19/ 4-6月	18/ 4-6月	19/ 7-9月	18/ 7-9月	19/ 10-12月	18/ 10-12月	20/ 1-3月	19/ 1-3月	FY19 修正予想
円/USD	109.90	109.10	107.36	111.43	108.76	112.91	108.84	110.22	107.00
円/EUR	123.50	130.03	119.41	129.55	120.32	128.82	120.05	125.16	122.00
円/THB	3.48	3.42	3.49	3.38	3.59	3.44	3.48	3.49	3.42
円/BRL	28.02	30.27	27.05	28.24	26.41	29.63	24.57	29.29	28.16

## ■海外調味料・加工食品、冷凍食品実績(構成比は四捨五入)



## Five Stars及び海外冷凍食品 売上高対前年増減率

タイ	約341億THB (LCベース+2%*、円ベース+4%)	*内訳>調味料 +3%、加工食品 +1%	
インドネシア	約5兆8,309億IDR (LCベース+9%、円ベース+8%)	ブラジル	約11.1億BRL (LCベース+3%、円ベース▲6%)
ベトナム	約7兆4,058億VND (LCベース▲12%、円ベース▲15%)	フィリピン	約82億PHP (LCベース+9%、円ベース+9%)
海外冷凍食品	LCベース+0%、円ベース▲2%		

## 味の素株式会社 2020年3月期 決算概要②

年度末にかけては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部の医薬用アミノ酸や家庭用の調味料・加工食品の需要に増加が見られたものの、外食向けの調味料・加工食品や食品用アミノ酸の需要が減少したため、全体としては同感染症の影響は軽微なものに留まりました。

## ■セグメント別実績

## 【日本食品】

(単位:億円)

	FY19実績	FY18実績	増減額	20/1-3月実績	19/1-3月実績	増減額	修正予想	進捗率
<b>売上高</b>	3,753	3,750	2	907	883	24	3,812	98%
調味料・加工食品	1,921	1,910	*1 11	464	452	11	1,974	97%
冷凍食品(日本)	977	973	*2 4	241	231	10	969	100%
コーヒー類	853	876	*3 ▲22	201	201	0	867	98%
<b>事業利益</b>	328	298	*4 29	35	42	▲6	286	114%
調味料・加工食品	316	325	▲9	57	60	▲2	-	-
冷凍食品(日本)	62	41	21	8	10	▲1	-	-
コーヒー類	68	50	17	3	4	▲0	-	-
全社共通費	▲118	▲119	0	▲35	▲32	▲2	▲126	93%

以下、2020年3月期(4-3月)に関するコメントです。増減要因については、影響額の大きい順に並べております。

- \*1 家庭用は増収も、業務用はベーカリー事業が前年を下回り、また外食向け調味料が新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収。全体で前年並み。
- \*2 家庭用は、「ギョーザ」を中心とした主力カテゴリーの販売拡大継続等により増収。業務用は、主力カテゴリーの販売が拡大するも、一部製品が前年の販促影響等を受け、減収。全体で前年並み。
- \*3 主力製品のインスタントコーヒー、スティックコーヒー、レギュラーコーヒーは増収も、パーソナルサイズリキッドコーヒーの事業縮小、ギフトの一部製品の終売等により全体で減収。
- \*4 調味料・加工食品は家庭用は増益も、業務用は減収により減益。全体で減益。冷凍食品は、売上前年並みも、生産性改善や業務用の値上げ効果等により大幅増益。コーヒー類は、減収も、原価低減、主力製品の増収及びマーケティング費用の効率的使用等により大幅増益。

## 【海外食品】

(単位:億円)

	FY19実績	FY18実績	増減額	20/1-3月実績	19/1-3月実績	増減額	修正予想	進捗率
<b>売上高</b>	4,776	4,816	▲40	1,193	1,210	▲17	4,840	98%
調味料・加工食品	2,962	2,989	*1 ▲26	723	759	▲36	3,000	98%
冷凍食品(海外)	1,131	1,153	*2 ▲22	296	285	10	1,133	99%
加工用うま味調味料・甘味料	682	674	*3 8	173	165	7	704	96%
<b>事業利益</b>	488	423	*4 65	78	91	▲13	453	107%
冷凍食品(海外)	8	12	▲4	▲6	7	▲13	24	35%
全社共通費	▲150	▲148	▲1	▲46	▲43	▲2	▲156	95%

&lt;調味料・加工食品 換算為替影響&gt;

FY19実績 売上高:▲41億円、事業利益:▲2億円

20/1-3月 売上高:▲22億円、事業利益:▲2億円

- \*1 値上げ効果があるも、ベトナムが前年を下回り、また換算為替影響(▲41億円)等もあり前年並み。
- \*2 北米、欧州におけるアジア製品の販売が引き続き拡大したが、換算為替影響、アモイ・フード社売却影響等により減収。
- \*3 加工用うま味調味料は換算為替影響もあるも、主に海外における販売単価上昇により増収。  
参考>加工用うま味調味料の売上高 526億円
- \*4 調味料・加工食品は、値上げ効果等により増益。冷凍食品は、北米は現地通貨ベースでの増収や生産性改善による大幅増益も、欧州における新型コロナウイルス感染症の影響とデザート事業の不振により、全体で大幅減益。加工用うま味調味料は、海外における販売単価上昇やコストダウン等により大幅増益。  
参考>調味料・加工食品 +21、冷凍食品 ▲4、加工用うま味調味料 +43、甘味料 +3

## 【ライフサポート】

(単位:億円)

	FY19実績	FY18実績	増減額	20/1-3月実績	19/1-3月実績	増減額	修正予想	進捗率
<b>売上高</b>	953	1,079	▲126	237	254	▲16	942	101%
動物栄養	566	726	*1 ▲160	139	169	▲30	565	100%
化成品	363	327	*2 35	93	77	15	-	-
その他	23	24	▲1	5	7	▲2	-	-
<b>事業利益</b>	71	95	*3 ▲24	24	19	5	21	340%
動物栄養	▲32	19	▲51	1	6	▲5	▲53	60%
化成品	136	115	21	34	24	10	-	-
その他	▲3	▲6	3	▲2	▲2	0	-	-
全社共通費	▲29	▲32	2	▲8	▲9	1	▲31	91%

- \*1 アフリカ豚コレラの世界的拡大による需要減少及び販売単価の下落により大幅減収。
- \*2 主に電子材料の販売好調により増収。
- \*3 動物栄養は大幅減収に伴い大幅減益。化成品は増収に伴い大幅増益。

## 【ヘルスケア】

(単位:億円)

	FY19実績	FY18実績	増減額	20/1-3月実績	19/1-3月実績	増減額	修正予想	進捗率
<b>売上高</b>	1,363	1,353	10	393	394	▲0	1,507	90%
アミノ酸	985	940	*1 45	309	299	10	-	-
その他	377	412	*2 ▲35	83	94	▲11	-	-
<b>事業利益</b>	123	120	2	46	46	0	130	95%
アミノ酸	147	125	*3 22	61	46	14	-	-
その他	23	40	*4 ▲16	▲0	14	▲14	-	-
全社共通費	▲48	▲44	▲3	▲14	▲14	0	▲50	94%

- \*1 主に製薬カスタムサービスや医薬用・食品用アミノ酸の販売拡大により増収。  
参考>医薬用・食品用アミノ酸 +15、製薬カスタムサービス +29
- \*2 健康基盤食品や香粧品素材が前年を下回り減収。
- \*3 医薬用・食品用アミノ酸、製薬カスタムサービスともに増収に伴い大幅増益。  
参考>医薬用・食品用アミノ酸 +12、製薬カスタムサービス +9
- \*4 減収に伴い、大幅減益。

## 【その他】

(単位:億円)

	FY19実績	FY18実績	増減額	20/1-3月実績	19/1-3月実績	増減額	修正予想	進捗率
<b>売上高</b>	153	142	*1 11	43	33	10	284	54%
<b>事業利益</b>	▲19	▲6	*2 ▲13	▲26	▲16	▲9	▲10	-
全社共通費	▲22	▲26	4	▲6	▲8	1	▲23	94%

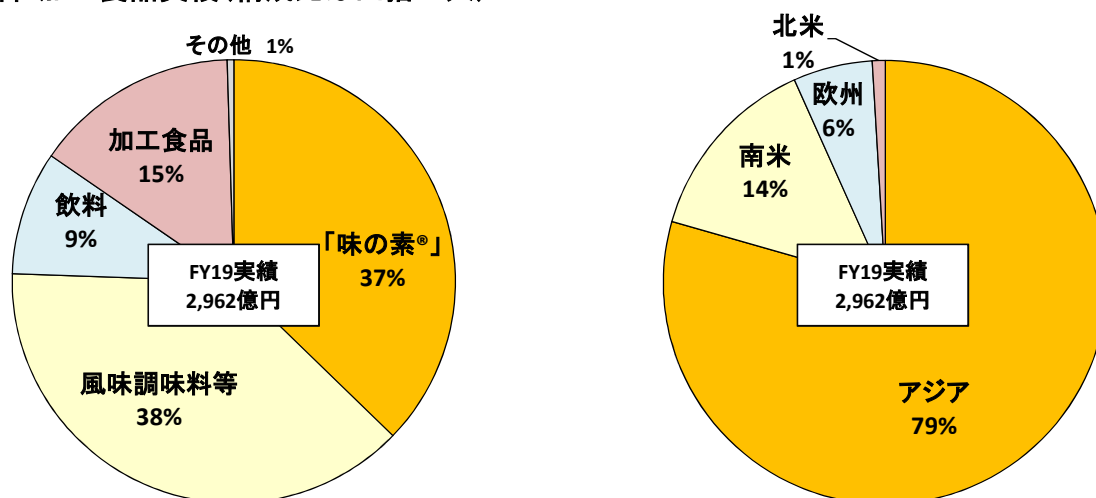
- \*1 主にサービス関連事業が前年を上回り増収。
- \*2 持分法適用会社において減損損失等があり減益。

\*当連結会計年度より包材事業については、非継続事業に分類しており過年度も遡及修正しております。

# 味の素株式会社 2020年3月期 決算概要③

2020年5月25日

## 参考1 海外調味料・加工食品実績(構成比は四捨五入)



## 参考2 地域別業績

(単位:億円)

<売上高>	日本	アジア	米州	欧州	合計
日本食品	3,642 (▲21)	39 (2)	52 (22)	19 (0)	3,753 (2)
	3,663	36	29	19	3,750
海外食品	150 (▲0)	2,509 (▲9)	1,699 (▲16)	416 (▲14)	4,776 (▲40)
	150	2,519	1,716	430	4,816
ライフサポート	385 (34)	69 (▲51)	265 (▲69)	231 (▲39)	953 (▲126)
	351	121	334	271	1,079
ヘルスケア	514 (▲25)	39 (1)	336 (22)	472 (11)	1,363 (10)
	539	38	313	461	1,353
その他	153 (11)	0 (▲0)	-	-	153 (11)
	142	0	-	-	142
合計	4,846 (▲1)	2,658 (▲57)	2,353 (▲41)	1,141 (▲42)	11,000 (▲142)
	4,848	2,715	2,395	1,183	11,143

上段: FY19実績、下段: FY18実績、()内は増減額。

(単位:億円)

<事業利益>	日本	アジア	米州	欧州	地域外	合計
日本食品	417 (31)	26 (3)	0 (▲4)	3 (▲0)	▲119 (▲0)	328 (29)
	385	23	5	4	▲118	298
海外食品	25 (0)	499 (45)	133 (13)	▲17 (3)	▲152 (2)	488 (65)
	25	454	119	▲21	▲154	423
ライフサポート	120 (18)	▲5 (▲1)	5 (▲10)	▲19 (▲33)	▲29 (2)	71 (▲24)
	101	▲4	16	14	▲32	95
ヘルスケア	54 (▲6)	6 (▲0)	64 (7)	50 (7)	▲53 (▲5)	123 (2)
	61	7	57	42	▲48	120
その他	2 (▲16)	▲0 (▲0)	-	0 (▲0)	▲22 (4)	▲19 (▲13)
	19	0	-	0	▲26	▲6
全社共通費等	▲178 (13)	▲95 (▲4)	▲69 (▲5)	▲33 (▲0)	377 (▲2)	-
	▲191	▲91	▲64	▲32	380	-
合計	442 (40)	430 (41)	135 (1)	▲16 (▲24)	-	992 (59)
	401	388	133	8	-	932

上段: FY19実績、下段: FY18実績、()内は増減額。  
全社共通費等には未実現利益消去等も含む。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

※ 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。

※ 本資料の金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

## 味の素株式会社 2020年3月期 決算補足資料

修正箇所

## ◆当社シェアおよび市場関連情報

## (1)主要製品 家庭用市場シェア(当社推定 消費者購入ベース)

## 調味料・加工食品

製品領域	主要ブランド	2018年度		2019年度		2020年度
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模予想 (億円)
うま味調味料	「味の素®」、「ハイミー®」	54	90%(1位)	52	93%(1位)	53
和風だしの素	「ほんだし®」	364	57%(1位)	364	58%(1位)	364
コンソメ*	「味の素KKコンソメ」	118	66%(1位)	120	66%(1位)	123
スープ*	「クノール®」	950	31%(1位)	969	31%(1位)	1,000
マヨネーズ類	「ピュアセレクト®」	536	26%(2位)	549	26%(2位)	555
合わせ調味料	「Cook Do®」、 「Cook Do®きょうの大皿®」	795	31%(1位)	795	32%(1位)	789

## 冷凍食品

製品領域	主要ブランド	2018年度		2019年度		2020年度
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模予想 (億円)
ギョーザ類	「ギョーザ」等	467	49%(1位)	512	49%(1位)	106-107%程度

## コーヒー類

製品領域	ブランド	2018年度		2019年度		2020年度
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模予想 (億円)
インスタント瓶	「Blendy®」、「MAXIM®」	371	5%(3位)	367	5%(3位)	359
インスタント瓶詰替え	「Blendy®」、「MAXIM®」	277	40%(2位)	278	41%(2位)	278
スティック	「Blendy®」スティック、 「Blendy®カフェラテ」スティック	328	58%(1位)	332	58%(1位)	345
ホームレギュラー	「ちよつと贅沢な珈琲店®」	236	16%(3位)	236	15%(3位)	234
パーソナル・ レギュラー	「Blendy®」ドリップ、 「ちよつと贅沢な珈琲店®」ドリップ	203	13%(3位)	215	12%(3位)	224

## (2)日本食品 家庭用/業務用比率\*1

(単位:億円)

		18/4-9月	2018年度	19/4-9月	2019年度
調味料・加工食品*2	売上高	909	1,910	905	1,921
	家庭用	51%	54%	52%	55%
	業務用	49%	46%	48%	45%
冷凍食品*3	売上高	486	965	487	973
	家庭用	55%	54%	57%	57%
	業務用	45%	46%	43%	43%
コーヒー類*4	売上高	422	909	417	887
	家庭用	72%	75%	70%	73%
	業務用	28%	25%	30%	27%

\*1:構成比は四捨五入、\*2:業務用調味料・加工食品、加工用調味料(天然系調味料・酵素製剤等)、弁当・惣菜、ベーカリー

\*3:味の素冷凍食品社単体の数値であり、2019年度より純売上高で記載し過年度の数値を修正、\*4:味の素AGF社単体の数値を記載

## (3)北米の日本食・アジア食の冷凍食品 当社推定市場規模および市場シェア

	2018年度	2019年度	2020年度予想
市場規模*1(百万USD)	655	732	4-5%程度成長
味の素フーズ・ノースアメリカ社	33%(1位)	30%(1位)	-

\*1 除くクラブストア向け、PB

## 味の素株式会社 2020年3月期 決算補足資料

修正箇所

## (4)MSG、核酸系調味料 当社推定市場規模

	2018年度				2019年度			
	中国	その他	計	当社シェア	中国	その他	計	当社シェア
MSG(千トﾝ)	1,660	1,600	3,260*1	約20%	1,680	1,620	3,300*2	約20%
核酸系調味料(千トﾝ)	-	-	54	約25%			58	約30%

\*1 家庭用:60%弱、加工食品メーカー向け:40%強

\*2 家庭用:60%弱、加工食品メーカー向け:40%強

## (5)アミノ酸系甘味料アスパルテーム 当社推定市場規模

	2018年度		2019年度	
	市場規模	当社シェア	市場規模	当社シェア
アスパルテーム(千トﾝ)	28.0前後	30%弱	28.6前後	30%弱

## (6)飼料用アミノ酸 市況および当社推定市場規模

		2017年度	2018年度	19/4-9月 *2	2019年度 *2
スプレッド(USD/ST)*1		195	195	165	165
市場価格 (USD/kg* CIFベース)	リジン	1.40	1.40	1.35	1.35
	スレオニン	1.70	1.55	1.55	1.50
	トリプトファン	11.00	9.50	7.00	6.50
市場規模 (千トﾝ)	リジン	2,400前後	2,600前後		
	当社シェア	15%前後	10%前後		
	スレオニン	640前後	700前後		
	当社シェア	20%前後	10%前後		
	トリプトファン	37前後	41前後		
	当社シェア	25%前後	25%前後		

\*1 シンゴ商品取引所(CBOT)の大豆粕とトウモロコシの価格差

\*2 2019年度市場規模については、アフリカ豚コレラや新型コロナウイルス等の影響により市場推定が困難なため、非開示としております。

## ◆セグメント別SG&amp;A、設備投資内訳

## (1)減価償却費

(単位:億円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度予想
日本食品	122	131	152	
海外食品	196	201	232	
ライフサポート	63	53	49	
ヘルスケア	72	73	105	
その他	11	13	44	
全社	42	51	35	
計	509	524	619	666

## (2)設備投資

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度予想
日本食品	168	197	266	
海外食品	311	274	332	
ライフサポート	66	56	50	
ヘルスケア	160	161	134	
その他	32	13	6	
全社	55	91	46	
計	794	796	836	860

## (3)研究開発費

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度予想
日本食品	34	35	35	
海外食品	37	36	38	
ライフサポート	52	54	46	
ヘルスケア	25	29	36	
その他	8	2	3	
全社	119	120	115	
計	278	278	275	276